

黒髪女子
とにかく
愛でたい

を



R18
Adult only



黒髪女子
とにかく
愛でたい
を

※本作品はR18です。
高校生を含む18歳未満の方の閲覧はお断りいたします。

あの日

放課後の屋上入口前で
セックスをしてから
二週間

星野さんに
露骨に
避けられている







結局
あの日
あれから

短絡的で
あほ
阿呆な俺は

「二度目」などを
期待して

家では
筋トレを
始めて



放課後
あの場所へ
向かうものの

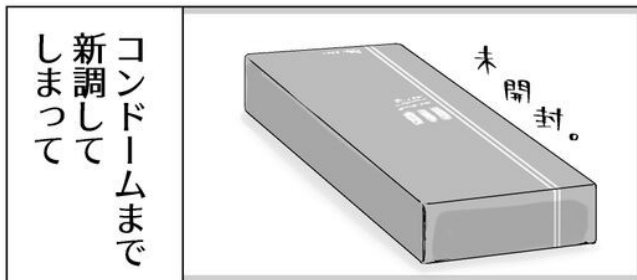
……星野さんが
現れることはなく



未開封。



コンドームまで
新調して
しまつて



いつも通り
仮眠をしようにも
あの時の星野さんの
色々が諸々
フラッシュバック
するものだから



あの踊り場は最早
ただの抜き場所と
化してしまい



妙な
罪悪感と

待ち惚けの
虚しさから



ここ数日は
大人しく直帰している
訳だが







ええと...

かっ

まじ

.....



ごめん

その.....っ

ああいや

じゃなくて

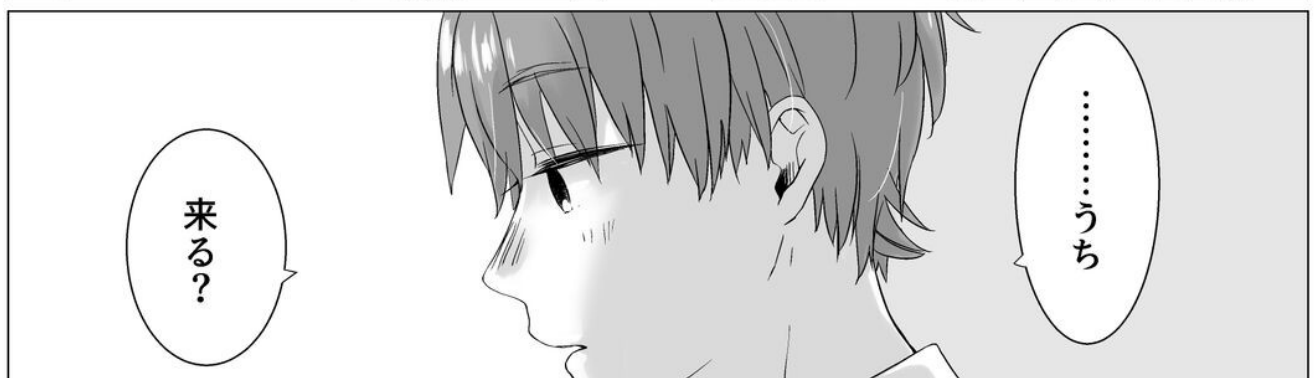
迷惑

なら

あっ.....!



俺とまた
えっち
したいって
捉えます
けど
構いませんか!?



来る?

.....うち

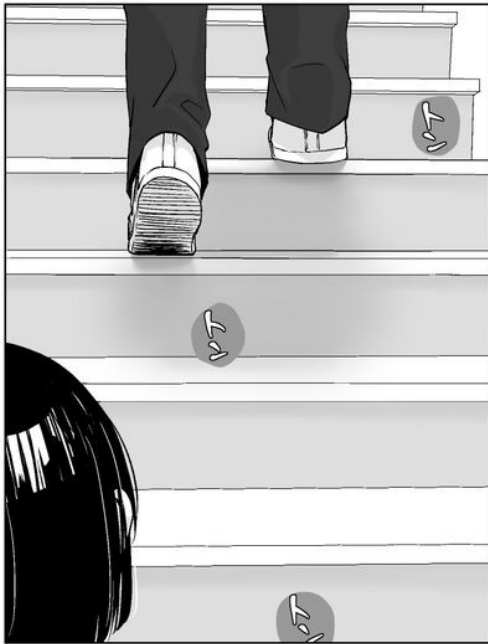


親は実家に
いるから

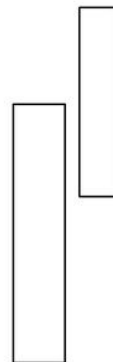
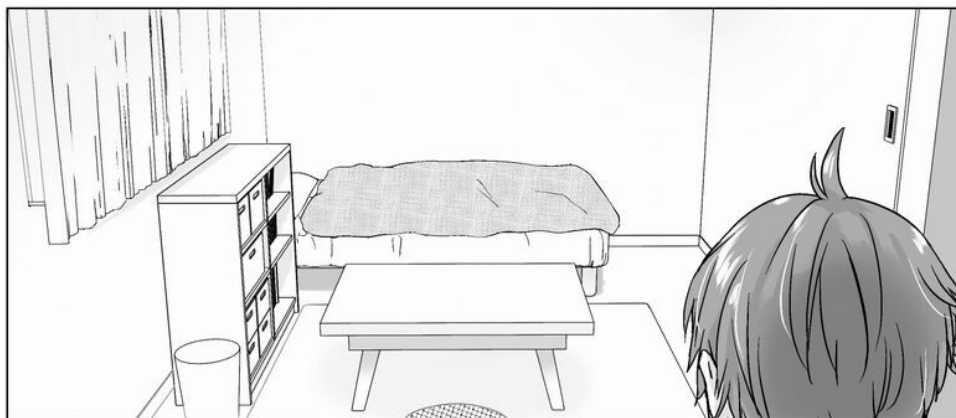
俺いま
アパート
住まいで



星野さんが
よければ
だけど







……
とりあえず
女の子が
入っても

問題ない
かなあ……

掃除機かけたし
フタフリまくったし
大丈夫だと
思いたい



うわ！

湯上がりの
星野さん

とか!!



さ
笹井君



あ
ありがとう

あ
髪まで洗ったのか

ドライヤー？

うん
ちょっと待って

うわ

でも



ドライヤー
って

借りてもいい？



髪濡れてるの

いいなあ

！

？

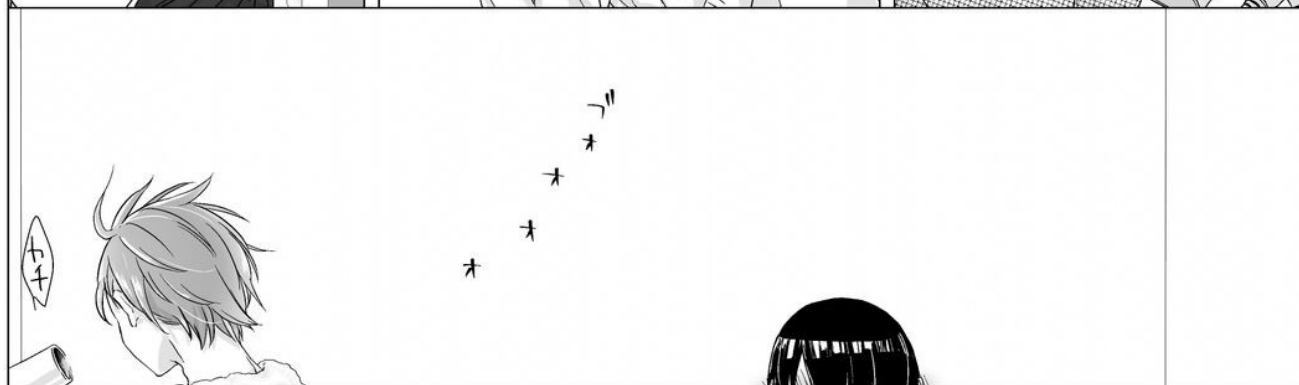
かあ

これ

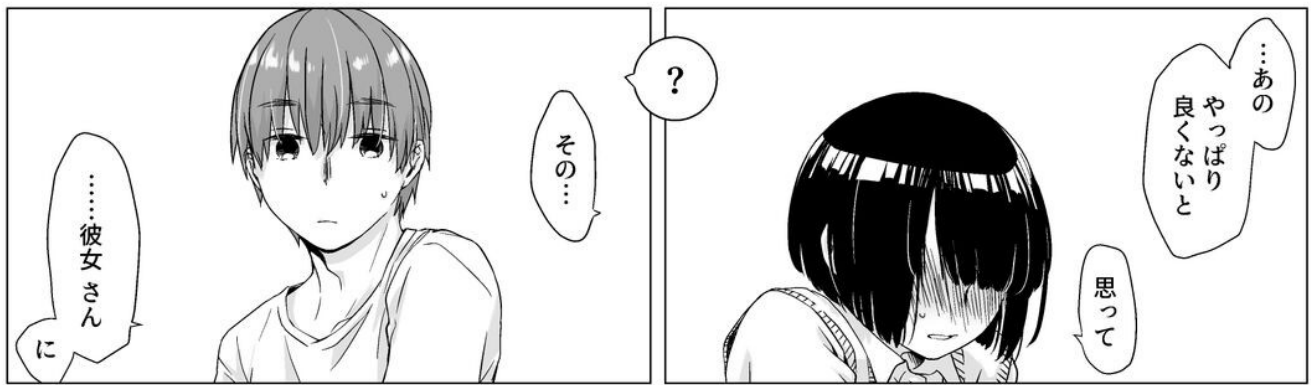
いいなあ……!

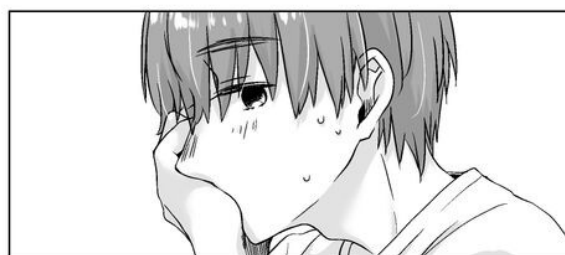




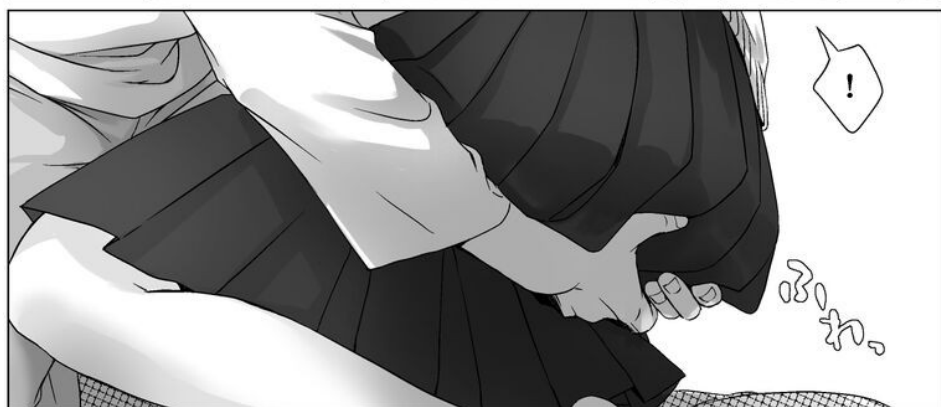


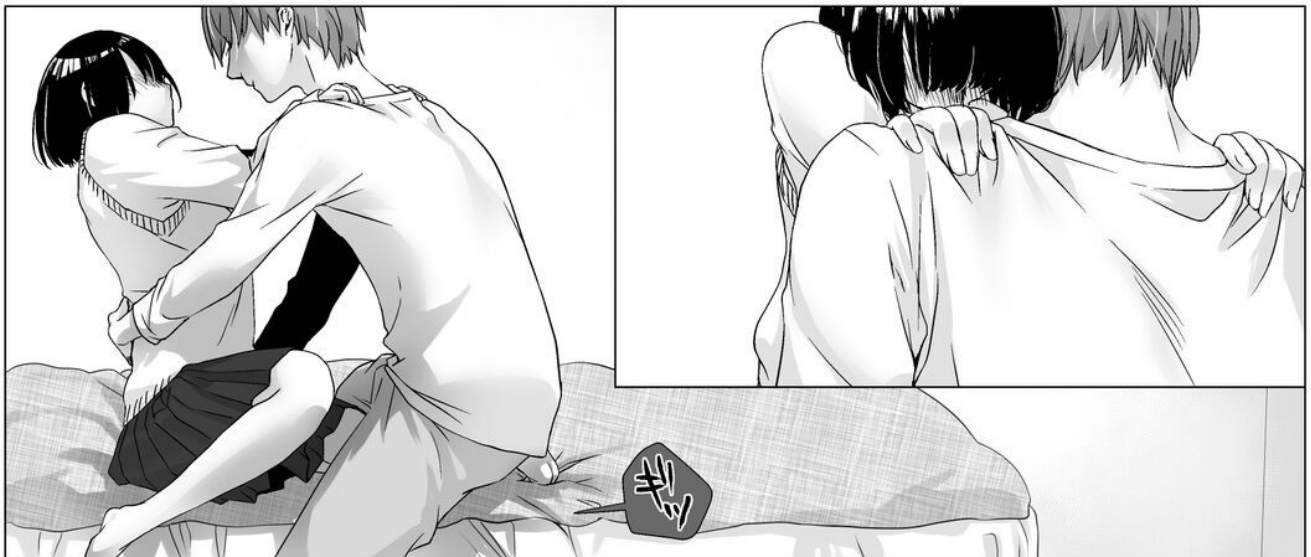
















この体型
ギャップ

やっぱり
反則だと思う



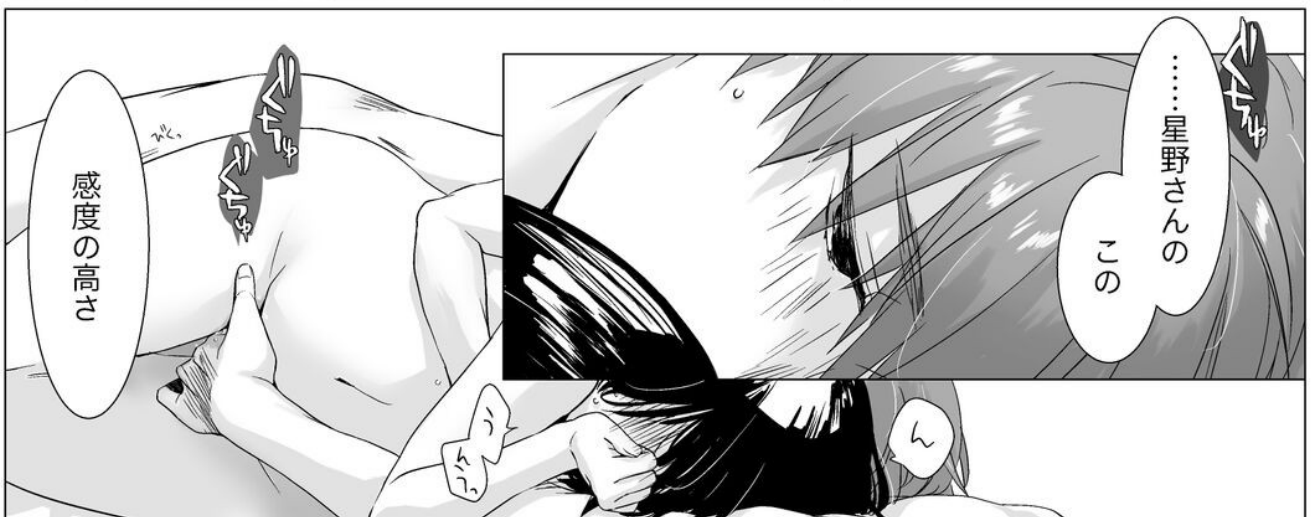
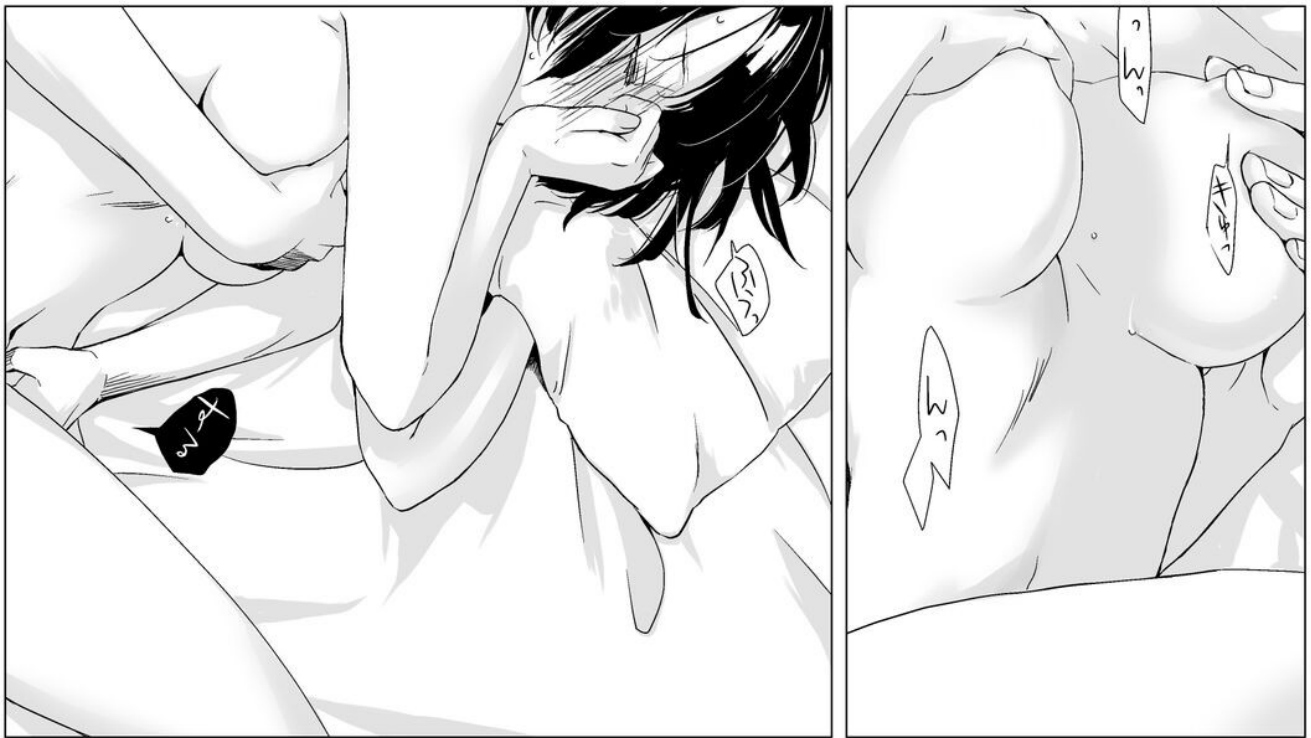
……
大事などこ全部
隠してるつもりかも
しれないけど

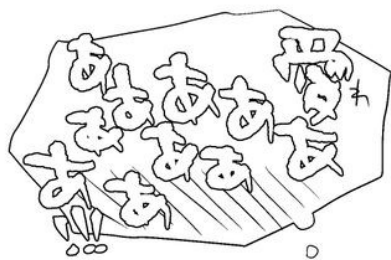
髪とか
首筋とか

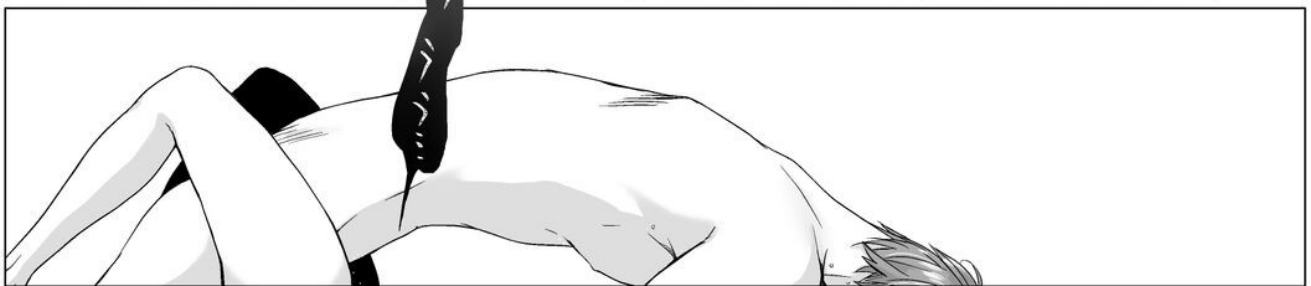
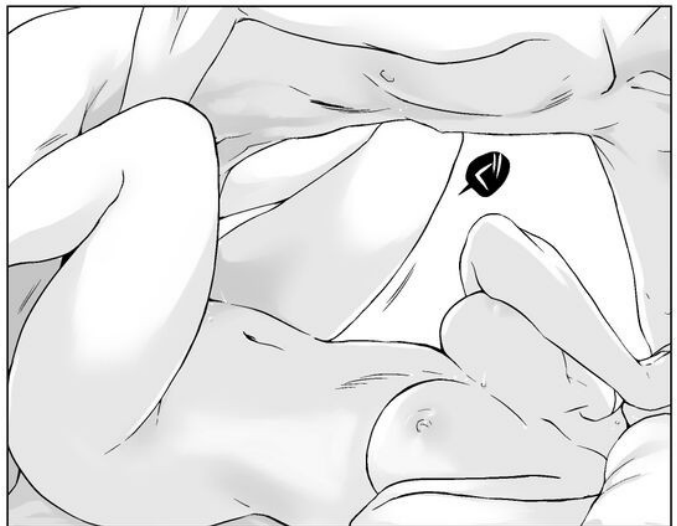
細い腰とか
太腿とか……

星野さんの
えろいとこ
全然隠れて
ないんだよな





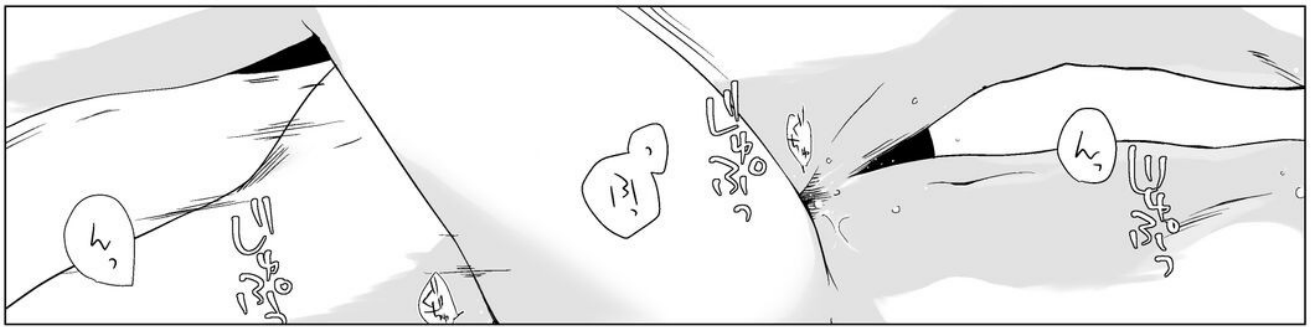




欲望を
コントロール
出来るか
もう
全然自信がない



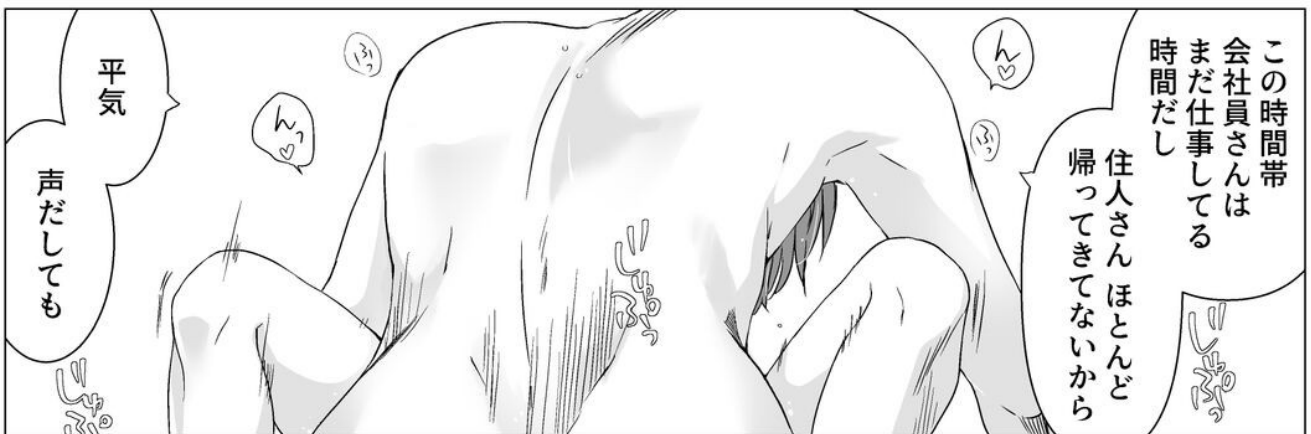
ついさっき
無茶したら
だめだって
思ったとこなのに
ああもう
二週間
星野さんと話せなかった
二週間ずっと
一方的におあずけ状態
だったから



言うのは
やめた

と
思ったけど
おっさん
みたいなので

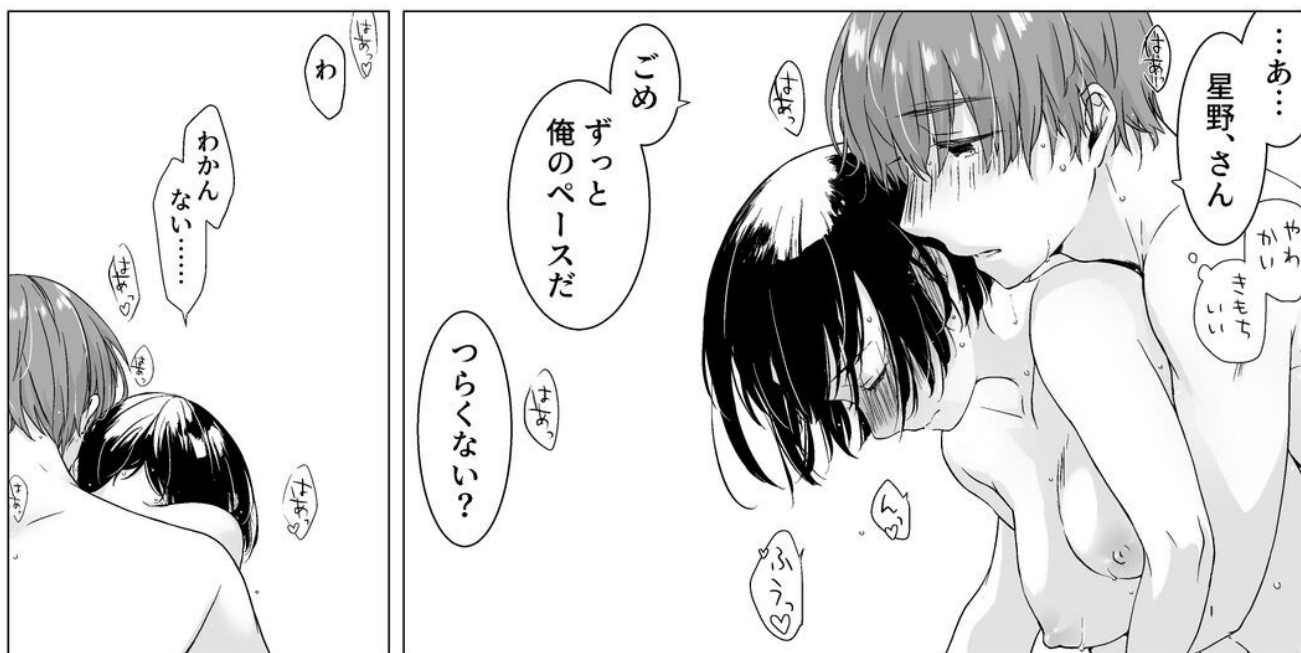
え
そんな
大きい声
だして
くれるの？



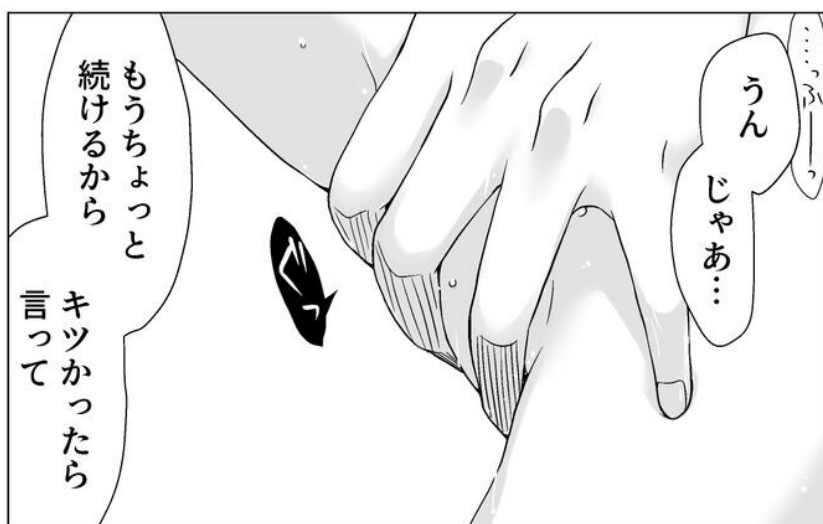


...まあ

いいか

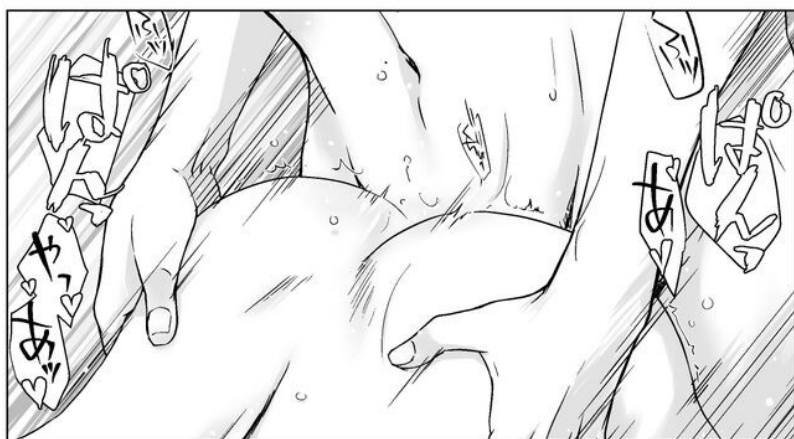


この 殺し文句
とんでも
ないな



言ってもらった
ところで 俺

止められないかも
しれないけど





うわ
へんな声 でした



「溺愛」
つて言葉

あれって

相手を
溺れさせる程の
愛情を与える

って

意味だと思ってたけど

よし
だいぶ
落ち着いて
きた…



星野さんに
限っていえば

溺れてるのは
俺の方だ



黒髪好を
ひそかに
愛でたい





一カ月前

「お詫び」の次の日の放課後
部室棟の階段を上っていく
笹井君を見かけて



いろいろ
迷った挙句

ケーキの
お礼を
言いたかった
から



でも
その場所で



笹井君は
眠ってて



すいすい
通知
鳴ってるのに
起きない



教室で
話しかける
勇気がなかったから
起きるまで
待ってようと
思ったけど



あまりにも
気持ちよさそうに
眠ってるから

幸せな夢でも
見てるのかな

って



いつもの冷静な顔とは
少し違う
優しい
幸せそうな寝顔

笹井君のことは

それまで直接話したことは
なかったけど



周りの女の子たちが

男子の中で
選ぶなら
笹井君はアリ

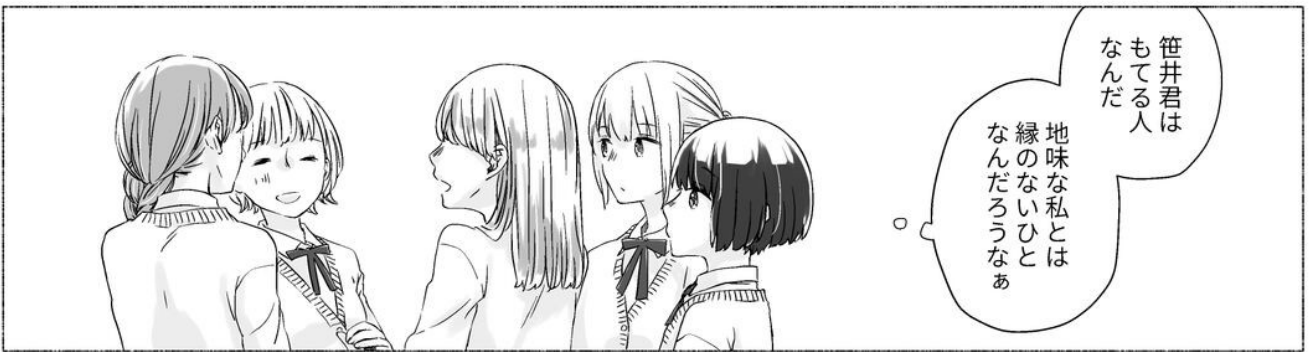
寝癖が
なんか
カワイイ

って言ってるのを
聞いていて

なにげに
平均点
高い

笹井君は
もてる人
なんだ

地味な私とは
縁のないひと
なんだろうなあ



でも



男の子と
うまく話せない
私相手でも
ちゃんと
接してくれて



コーヒー
ブラックなんだね

意外

あ 今日
は
ケーキを食べるから
太っちゃう
かな...

あの電車で
はじめて
話したとき

私の名前を
知ってくれてて



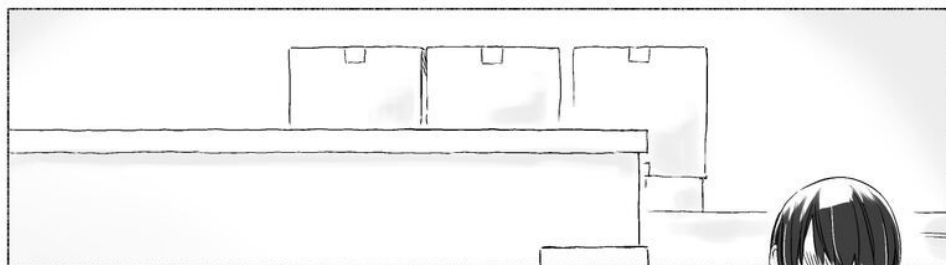
甘い
何系が
好き?

あ、
スイーツ
食べ放題にする?

ふっふっ
ケーキだ!



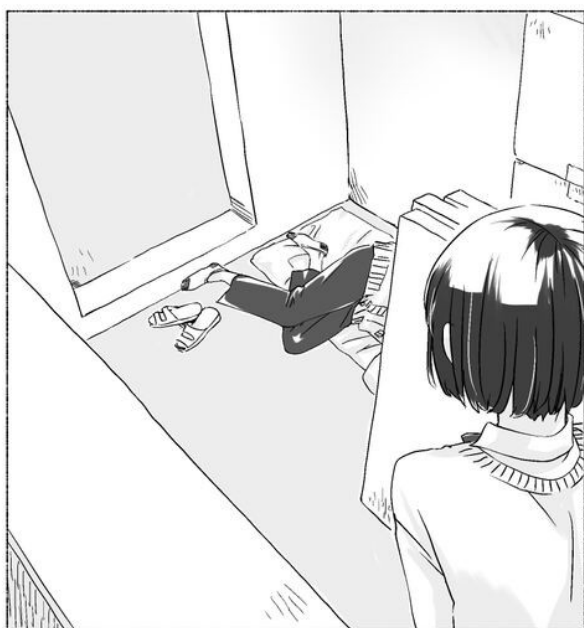
…結局



屋上口では
笹井君が
起きる前に
私が逃げて
しまったけど

その次の日
何とか
頑張って
お礼をいって

それから
少しだけ
笹井君と
話せるよう
になって

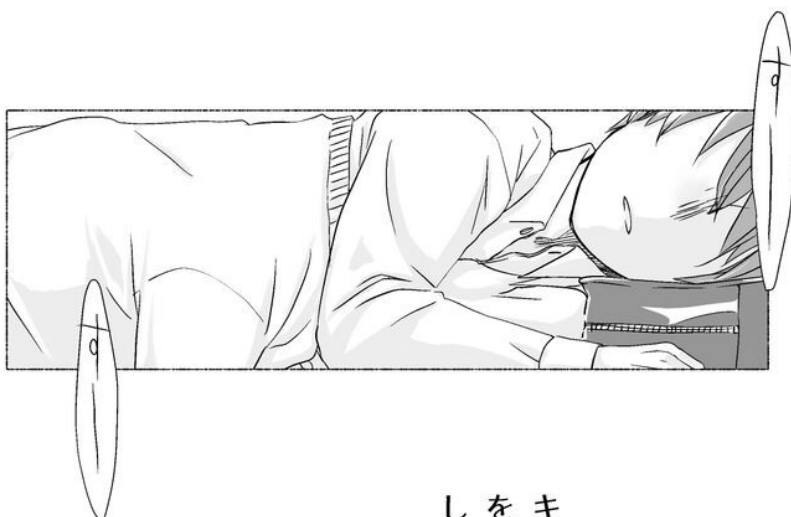


そうしたら

どうしても
どうしても

あの幸せな寝顔を
もっと見たくなって

…何日か
寝顔を
見てるうちに



キス
を
したい

って

思うように

なつて



だから
あの日



「星野さん」





あの時

すごく驚いて
混乱してたけど

...でも たぶん



「星野さんのこと
襲っちゃうから」

学校で

なんて

だめだって分かった

けど

...でも

地味な私のことを
笹井君が

見てくれることなんて

もう二度とないような
気がして



「大きな声
出しちゃ」

大きな声

出しちゃ



「だめだよ」



首筋

のあとに...



「じゃあ」

...それから...



んんっ

...ん...

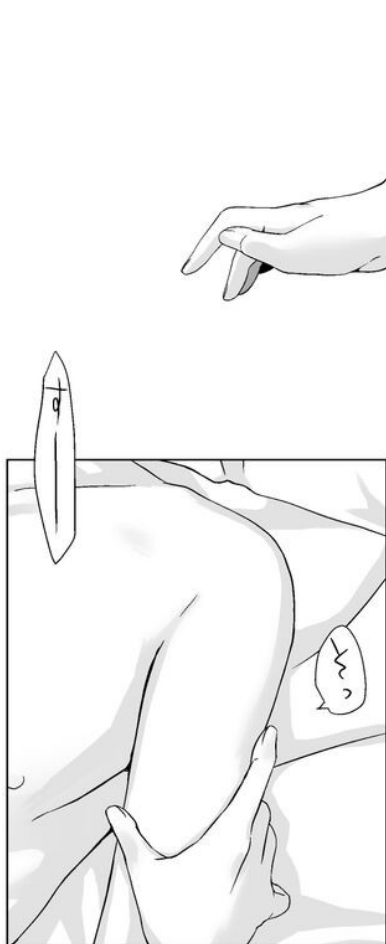
んん

...す



はむっ

...ん...





笹井君の腕は
華奢に
みえるけど



でも

男の子の
力をしてて

私
あの日の

…初めての
とき以来

笹井君とまた
…したくて

頭を
撫でて

ぎゅって
して
欲しくて



……あ。



おへその横に
ほくろ

つい







……今日は

「何があっても
絶対に
告白しよう」

って
決めてたから

彼女がいるのかも
しれないって
思った時は
怖かった けど

でも

それでも
伝えたくて





私

やっぱり

笹井君のことが

好きだ。



蛇足的な
あとがき

表紙より

もちろん
こうなる。



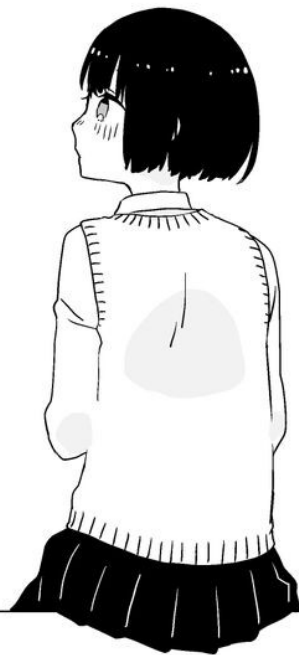


笹井 慧
ささい けい

・黒髪好き

いつもは髪を
乾かさずに寝るので
寝癖がひどい人。

出てきた
ひとたち



星野 晶
ほしの あきら

・黒髪女子

笹井君は髪を触っているが
頭を撫でられていると
実は勘違いしてる人。



笹井君の友達

名前も設定も
特になく人。

笹井君のへそ横のほくろは
実は前作から描いてありました。

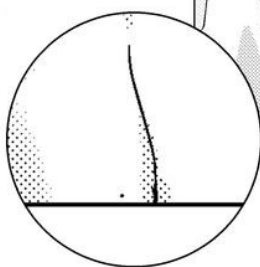
ギリ見えないくらいの感じで
描いたので、気付いた方は
少ないのではないのでしょうか。

※デバイスや販売サイト様によっては
潰れて見えないかもしれません…

前作中、(多分)全部で5コマあります。
うち、比較的目視しやすいのは
2コマくらいだと思います。



笹井君のへそ横ほくろ



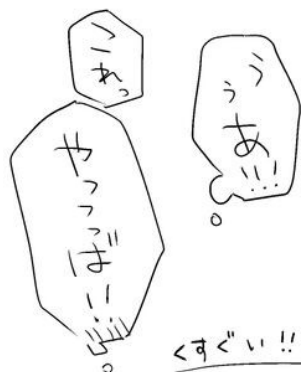
(※メタネタ)
もし笹井君が後から
「黒髪好を」で星野さんに
何をされてたか知ったら



Special thanks

Iさん
いのうえさん
おーさん
Yさん

前作「黒髪女子をとにかく愛でたい」
を読んで下さったみなさま



<す>い!!

「続き」をしてもらってたらこうなるかもしれない図



くろかみじょし
黒髪女子をとにかく愛^めでたい 2

サークル/ 青色観測所
発行人 / 中原水芋
発行日 / 2021年6月1日
連絡先 / three_taimocroquettes@outlook.jp
Twitter / @imomizuimo

本作の内容は全て、無断転載・複製・複写・
インターネット(WEB・ブログ・SNS等)上への掲載を禁止します。

本作品はフィクションです。
登場する人物や地名などは、実在するものと一切関係ありません。

